

白神の絆

林野庁
東北森林管理局
津軽白神森林生態系
保全センター

平成28年12月26日

No.126

写真展『白神の自然』開催中

12月10日（土）から2月26日（日）まで、青森県総合社会教育センター1階アートギャラリーsha-seにおいて、白神山地ビジターセンターとの合同写真展『白神の自然』を開催中です（入場無料）。今回は“白神の生きものたち”をテーマに合計42点展示しており、1月は山野草、2月は四季の風景写真に入れ替えていく予定です。今月の目玉は根深誠さんが撮影されたクマゲラです！♂♀1点ずつあり、頭の赤い部分の大きさの違いがはっきり分かります。



笹内川を遡上するサケ♂ (2016.11.12)

白神の生きもの…と言えばまずツキノワグマやカモシカなどが思い浮かびませんか？もちろんそういった大型哺乳類の写真も展示していますが、今回は普段あまり注目されない昆虫類を16点飾ってみました。ツガルミセバヤの花粉媒介者、日本最小のクワガタ等々、昆虫の生態や形態の多様性をじっくりご堪能下さい。また、本誌4月号で触れていましたが、白神周辺のサケ科魚類も全てそろえてみました。ヤマメとサクラマス、イワナとアメマスの違いを見比べていただけたら、と思います。お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。（有本）

日 時：平成28年12月10日（土）～平成29年2月26日（日）
午前9時～午後7時
※毎月第4月曜日・年末年始（12月29日～1月3日）は休所日
会 場：青森県総合社会教育センター 1階アートギャラリー 「sha-se」
青森県青森市荒川字藤戸 119-7 TEL 017-739-1252
その他：入場無料

白神山地 違法伐採・マナー違反が増加 ニホンジカ目撃数も増 ー巡視員会議(青森県側)ー



巡視員会議の様子

白神山地世界遺産地域連絡会議（※）は12月18日（日）、西目屋村中央公民館で第2回白神山地世界遺産巡視員会議を開催しました。白神山地世界自然遺産地域における違法樹木伐採等が8件21本（前年度0件）、たき火等のマナー違反が12件（前年度4件）と大幅に増加したことなどを報告。引き続き巡視員や関係機関が連携し巡視活動に努めることを申し合わせました。



救急法講習

青森県内のニホンジカ目撃数（12月9日現在）については、84件117頭と昨年度の81件114頭を既に上回ったことなどが報告されました。

午前の会議には関係機関担当者、巡視員ら約50名が出席し、今年度の巡視活動状況など有意義な情報交換の場となりました。午後からは、巡視活動中の万一の事故に備え、弘前消防署目屋分署から講師を招き救急法講習が行われ巡視

員らは真剣に受講していました。（石田）

※白神山地世界遺産地域連絡会議

白神山地世界遺産地域の適正な保安全管理の維持を図るため、関係機関相互の連絡調整を行うことを目的に東北森林管理局、東北地方環境事務所、青森県、秋田県、青森県教育委員会、秋田県教育委員会及び地元市町村により構成されています。

久保技官らダブル受賞 —国有林野事業業務研究発表会—

平成28年12月13日(火)、農林水産省において平成28年度国有林野事業業務研究発表会が開催されました。この発表会は森林管理局等における現場業務の実行を通じて得られた森林の効率的な整備手法や森林環境教育の推進、森林生態系の保全管理の取組等について発表することにより、これら成果の普及を図ることなどを目的に毎年開催されています。当センターの久保技官、津軽森林管理署の中村技官、米代西部森林管理署の福田技官の3名が東北森林管理局の若手職員で組織するボランティア会「やまぼんず」で取り組んでいた「疑似体験型森林教室白神バーチャル体験について(中間報告)」を発表しました。

高齢者や障がい者等にも気楽に自然に親しむ機会作りなどを目的に室内で疑似体験型の森林プログラムを考案・実践し審査員から高い評価を受け林野庁長官賞(最優秀賞)と日本林政ジャーナリストの会会長賞のダブル受賞となりました。今後の「やまぼんず」の継続した活動と活躍を期待します。

当センターでは、実施主体が行う森林教室、林業体験等の森林環境教育活動を職員派遣や教材の貸出しなどにより支援します。お気軽に当センターへご相談下さい。

(石田)



授賞式の様子



久保技官と中村技官

人事異動 (平成28年12月16日付)

○転出

農林水産技官 久保翔太郎 ⇨ 三陸北部森林管理署久慈支署
(総務グループ)

転任挨拶

三陸北部森林管理署久慈支署 久保翔太郎

12月16日付で三陸北部森林管理署久慈支署へ転勤することとなりました。2年と9ヶ月半、当センターで総務・経理担当として働かせていただきました。たくさん書きたい事があるのですが、2つ書かせて頂きます。

一つは、森林教室などで皆さんから掛けて頂ける「楽しかったよ」や「ありがとう」という言葉が『やりがい』や『楽しさ』になりました。そして、参加者の皆さんから自然の事、それ以外の事も、たくさんの事を教えて頂きました。本当にありがとうございました。

二つ目は、いろいろな形の『自然との関わり方』をしている方々を間近で見ることが出来、本当に勉強になりました。観光として訪れる人、大学の先生、巡視活動をされている方、たくさんの方が、いろいろな考えのもとで自然と関わっているということがわかりました。それがとても魅力的に感じました。

これからの事も少し書かせていただきます。私の実家の集落は、住民15人の限界集落です。熊の脂やマムシ焼酎を薬として使い、山から切り出した木で暖をとる、山暮らし集落です。これからは実家に近くなるので、四季の草花や味覚を楽しみつつ、



チェーンソーを握って、休日限定ですが、あこがれであった林業家になろうと考えています。

その山暮らしの経験を平日の業務に生かす!!ということが今考えている自分なりの『自然との関わり方』です。

今まで、大変お世話になりました。またお会いするときには今より立派になっていられるようがんばります。

久保技官の益々の活躍を祈ります

＝編集後記＝



今年も当センターへ格別なご支援、各種イベントへのご参加をいただきありがとうございました。来年も一層のご支援を賜りますようお願い致します。来る年の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。(職員一同)

〈発行〉林野庁 東北森林管理局 津軽白神森林生態系保全センター

〒038-2754 青森県西津軽郡鯨ヶ沢町大字米町 25-2 電話:0173(72)2931 FAX:0173(72)2932

